調達取引先との関わり

企業情報➡CSR活動➡調達取引先との関わり http://www.tdk.co.jp/csr/csr02200.htm

購買理念・購買方針

当社は、お取引先様と強固なパートナーシップを構築し、両社がともに高めあうwin-winの関係を維持することを目指し、購買理念「グローバル・パートナーシップ購買」を掲げています。グローバル・パートナーシップ購買とは、日本およびアジア・アメリカ・ヨーロッパに生産拠点を置いている当社が、スピーディな製品開発をするために、調達活動もグローバルで行っていくこと、そして、TDKが高品質な製品でお客様満足を高めるためには、お取引先様との緊密なコラボレーションが不可欠なことを意味しています。この理念を具現化するために、TDK購買方針を定め、購買活動を行っています。

購買理念 グローバル・パートナーシップ購買

TDK購買方針

遵法
購買活動にあたっては、関連法規を遵守いたします。また、法律個々の条項ばかりでなく、その精神をも尊重するように努めます。

人間的尊厳の重視
サプライチェーンのいかなる場においても、構成員（Workers）の人間的尊厳が重視されるよう努めます。

CSR
TDKグループの資材機能は、自らCSR活動を継続的に行うとともに、お取引先様にもCSRの重要性を理解していただき、その認知度を高めてもらうための働きかけ（CSRチェックシートによる評価）を継続的に実施します。

グリーン調達
地球との共生を旨とし、全社環境保全活動の一環として、環境に配慮した物品の調達（グリーン調達）を推進します。

公平・公正な取引
企業規模、国籍を問わず公平にお取引を行います。品質、価格、納期、安定供給など総合的に公正な評価をしてお取引を行います。

パートナーシップ
お取引先様とは、共通な目標のもとに良好な相互補完関係を築くことを目指します。

VA※活動
VA活動によるコストの改善、新材料、新技術の提供ができるお取引先様を重視します。

IT活用
IT、ネットワークを活用したお取引先様との情報交換は、業務のスピードアップ、連携強化に不可欠と考えます。

品質・納期・安定供給
お取引先様とのパートナーシップにより、常に品質・納期・安定供給に配慮する活動を行います。

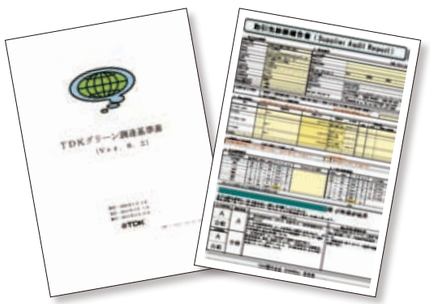
※VA：バリュー・アナリシス（Value analysis）。バリュー・エンジニアリング（価値工学）と同義に用いられることが多い。1946年にアメリカで開発された新しいコストダウンの考え方およびその手法をいい、求める機能を最少の資源コストで得るため、製品の価値に関連する諸要因を体系的に分析する。

取引先診断

当社では、健全な取引を行うことを目的に、原則3年に1度、定期的に取引先診断を実施して、取引継続の可否を判断しています。まず、お取引先様には「化学物質※」「品質」「コスト」「納期」「環境」「経営」のカテゴリーに分かれた89の項目について自己診断を行っていただきます。自己診断後、当社の担当者がお取引先様を訪問して、診断を実施。診断を通して明らかになった課題については、「是正依頼」と「要望事項」をお取引先様に提示し、改善を求めています。

2009年度は、国内137社、海外117社のお取引先様で実施しました。

※化学物質については「TDKグリーン調達基準書」で定めた要求事項に基づいています。基準書はWEBをご覧ください。http://www.tdk.co.jp/proc/pro30000.htm



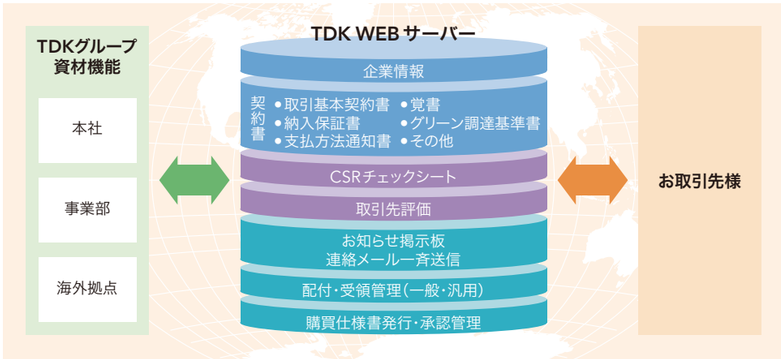
CSR調達の推進

TDK購買方針にもある「CSR調達」は、当社にとって重要な課題の一つです。当社は部品メーカーであるため、サプライヤーとしての立場で自社のCSRを推進する一方、当社のお取引先様に対してもCSRを求めていく必要があります。2007年9月に実施したサプライヤーミーティングでは、お取引先様にCSRの重要性や当社の考え方などをお伝えし、ご理解いただけるよう、協力をお願いしました。

お取引先様には「サプライヤー・パートナーシップ・システム※」を使って、CSRチェックシートへの回答をお願いしています。チェックシートの質問内容は、社団法人 電子情報技術産業協会（JEITA）のサプライチェーンCSR推進ガイドブックで求められている342項目から、当社が特に重要だと考える「人権・労働」「安全衛生」「公正取引・倫理」を中心に全48項目を抽出しました。お取引先様に課題を認識していただき、改善へのモチベーションを高めてもらうために、質問に答えると、その場で画面上に結果が表示される仕組みになっています。

2010年3月末までに、日本約2,000社、海外約2,000社からご回答をいただきました。この結果をお取引先様と当社で共有し、どう改善していくか、活動計画の策定などに取り組んでいます。

サプライヤー・パートナーシップ・システム



※サプライヤー・パートナーシップ・システム：これまで紙や磁気記録媒体で行っていた企業情報の管理や、購買仕様書の配布、締結文書の共有化などを、WEB上で一元管理する仕組み。両社にとって、業務のスピードアップと効率化につながっています。

グリーン購入

当社では、1999年4月にTDKグリーン調達基準書を制定し、お取引先様の環境管理状況および購入資材に関する調査を行い、グリーン調達を進めてきました。2004年2月には、RoHS指令等の世界各国の法律を遵守し、お客様の要求に応えるために改訂を実施し、当社のホームページに公開しました。

また、2009年6月には、「グリーン調達基準書Ver.6」（2010年2月にVer.6.2に改訂）を発行し、すべてのお取引先様に配布しました。購入資材の調査を、化学品、部品、包装材に分けて実施していますが、改訂された「グリーン調達基準書Ver.6」では、調査内容についても明確にしました。

お取引先様の調査の精度、効率性を配慮し、化学物質調査について日米欧の業界団体合意によるJIG（Joint Industry Guide）発行に対応し、対象物質を34物質群（禁止物質A24物質群、管理物質10物質群）を中心に調査しています。

当社の購入部材マスターは、TDKグリーン調達の基準に適合したデータとリンクさせ、当社の製品中に禁止物質が含有しないよう、徹底を図っていきます。

今後の課題

経営戦略による事業の統廃合などのため、当社のお取引先様数も変化しています。TDKグループとして共同で全体最適の購買活動を進めるために、グループ各社のお取引先様にも範囲を拡大して、当社の購買理念や購買方針をお伝えし、ご協力いただけるよう努めていきます。

また、お取引先様におけるCSRの重要性を高めていただく活動として、引き続きアンケート形式のCSRチェックシートへの回答をいただくとともに、今後は、お取引先様の生産環境を把握する取り組みも重要な課題であると考えています。